

### Ⅲ 結果の概要

#### 1 人口の動向

##### (1) 総人口

第16回国勢調査による平成7年10月1日現在の茨城県の総人口は2,955,530人（全国第11位）となったが、これは前回（平成2年）と比べると、数で110,148人、率で3.9%の増加である。第1回国勢調査（大正9年）時には1,350,400人であったから、75年間で約2.2倍になったことになる（第1表、表-1）。

表-1 人口、人口増減及び人口指数 -茨城県、全国-

年次	人 口		増 加 数		増加率(%)		人 口 指 数 (大正9年=100)	
	茨 城 県	全 国	茨 城 県	全 国	茨城県	全 国	茨城県	全 国
大正9年	1,350,400	55,963,053	...	...	...	...	100	100
14	1,409,092	59,736,822	58,692	3,773,769	4.3	6.7	104	107
昭和5年	1,487,097	64,450,005	78,005	4,713,183	5.5	7.9	110	115
10	1,548,991	69,254,148	61,894	4,804,143	4.2	7.5	115	124
15	1,620,000	73,114,308	71,009	3,860,160	4.6	5.6	120	131
22	2,013,735	78,101,473	393,735	4,987,165	24.3	6.8	149	140
25	2,039,418	84,114,574	25,683	6,013,101	1.3	7.7	151	150
30	2,064,037	90,076,594	24,619	5,962,020	1.2	7.1	153	161
35	2,047,024	94,301,623	△17,013	4,225,029	△0.8	4.7	152	169
40	2,056,154	99,209,137	9,130	4,907,514	0.4	5.2	152	177
45	2,143,551	104,665,171	87,397	5,456,034	4.3	5.5	159	187
50	2,342,198	111,939,643	198,647	7,274,472	9.3	7.0	173	200
55	2,558,007	117,060,396	215,809	5,120,753	9.2	4.6	189	209
60	2,725,005	121,048,923	166,998	3,988,527	6.5	3.4	202	216
平成2年	2,845,382	123,611,167	120,377	2,562,244	4.4	2.1	211	221
7	2,955,530	125,570,246	110,148	1,959,079	3.9	1.6	219	224

結果の概要

人口の推移を増加率からみると、昭和22年～40年の横ばい状態から、昭和40年～45年に上昇に転じ、昭和45年～55年の10年間は10%近い高い増加率を示したが、昭和55年～60年からは鈍化し始め、今回（平成2年～7年）は更に鈍化し、前回（昭和60年～平成2年）より0.5ポイント低下し3.9%となったものの、これは全国第6位の高い増加率である。なお、人口増加数（110,148人）も前回（平成2年～7年）より10,229人少なくなっている（第1表、表-2、図-1）。

表-2 人口増加率の高い都道府県

順位	都道府県名	増加率(%)	
		平成2年～平成7年	昭和60年～平成2年
1	埼玉県	5.5	9.2
2	滋賀県	5.3	5.8
3	千葉県	4.4	7.9
4	沖縄県	4.2	3.7
5	奈良県	4.0	5.4
6	茨城県	3.9	4.4
7	宮城県	3.6	3.3
8	山梨県	3.4	2.4
9	神奈川県	3.3	7.4
10	三重県	2.7	2.6

人口の多い都道府県の推移をみると、大正9年～昭和40年までは東京都、大阪府、北海道等が上位1～3位を占めていたが、昭和30年頃から顕著になった大都市部への人口集中は、その後、大都市周辺へも及び、このため昭和45年からは北海道に代わり神奈川県が第3位となり、また、近年特に、東京都に隣接した埼玉県及び千葉県が上位を占めるようになった。

茨城県の順位は、大正9年には第13位と埼玉県、千葉県及び神奈川県より上位であったが、その後第12～15位を推移しているのに対し、これら3県の人口増加は著しく、戦後はいずれも茨城県より上位に位置している（表-3）。

また、1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、前回の467.0人より18.0人高くなって485.0人となっている（第1表）。

図-1 人口及び人口増加率の推移  
(大正9年～平成7年) - 茨城県 -

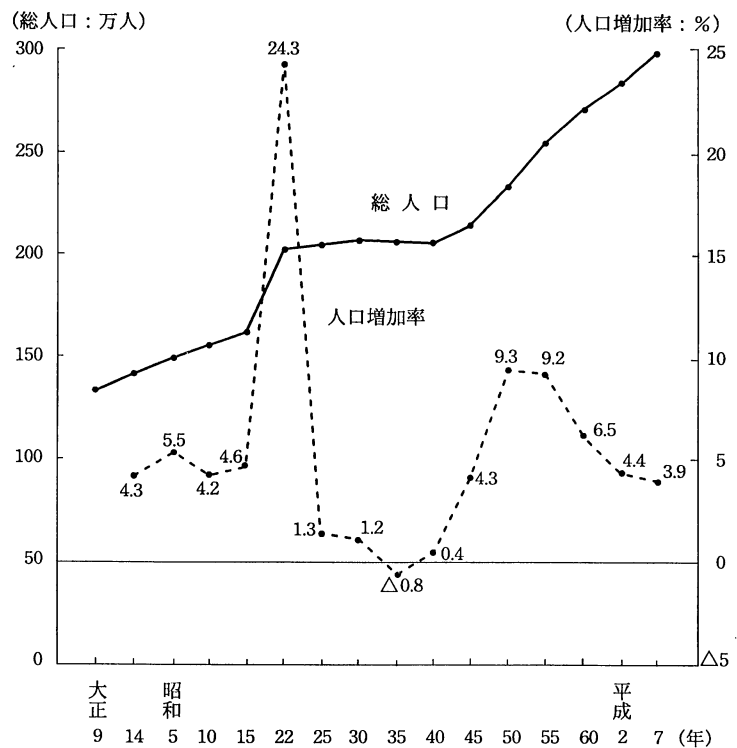


表-3 都道府県別人口順位の推移 (上位15都道府県)

順位	大正 9 年		昭和 10 年		昭和 25 年		昭和 40 年		昭和 55 年		平成 7 年	
	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口	都道府県	人口
1	東京都	3,699,428	東京都	6,369,919	東京都	6,277,500	東京都	10,869,244	東京都	11,618,281	東京都	11,773,605
2	大阪府	2,587,847	大阪府	4,297,174	北海道	4,295,567	大阪府	6,657,189	大阪府	8,473,446	大阪府	8,797,268
3	北海道	2,359,183	北海道	3,068,282	大阪府	3,857,047	北海道	5,171,800	神奈川県	6,924,348	神奈川県	8,245,900
4	兵庫県	2,301,799	兵庫県	2,923,249	福岡県	3,530,169	愛知県	4,798,653	愛知県	6,221,638	愛知県	6,868,336
5	福岡県	2,188,249	愛知県	2,862,701	愛知県	3,390,585	神奈川県	4,430,743	北海道	5,575,989	埼玉県	6,759,311
6	愛知県	2,089,762	福岡県	2,755,804	兵庫県	3,309,935	兵庫県	4,309,944	埼玉県	5,420,480	千葉県	5,797,782
7	新潟県	1,776,474	新潟県	1,995,777	神奈川県	2,487,665	福岡県	3,964,611	兵庫県	5,144,892	北海道	5,692,321
8	長野県	1,562,722	静岡県	1,939,860	静岡県	2,471,472	埼玉県	3,014,983	千葉県	4,735,424	兵庫県	5,401,877
9	静岡県	1,550,387	神奈川県	1,840,005	新潟県	2,460,997	静岡県	2,912,521	福岡県	4,553,461	福岡県	4,933,393
10	広島県	1,541,905	広島県	1,804,916	埼玉県	2,146,445	千葉県	2,701,770	静岡県	3,446,804	静岡県	3,737,689
11	鹿児島県	1,415,582	長野県	1,714,000	千葉県	2,139,037	新潟県	2,398,931	広島県	2,739,161	茨城県	2,955,530
12	福島県	1,362,750	京都府	1,702,508	広島県	2,081,967	広島県	2,281,146	茨城県	2,558,007	広島県	2,881,748
13	茨城県	1,350,400	鹿児島県	1,591,466	福島県	2,062,397	京都府	2,102,808	京都府	2,527,330	京都府	2,629,592
14	千葉県	1,336,155	福島県	1,581,563	長野県	2,060,831	茨城県	2,056,154	新潟県	2,451,357	新潟県	2,488,364
15	神奈川県	1,323,390	茨城県	1,548,991	茨城県	2,039,418	福島県	1,983,754	長野県	2,083,934	宮城県	2,328,739

## (2) 人口集中地区人口

人口集中地区は昭和35年から設定されたが、その全域人口に占める割合は、人口の都市化を示す指標の一つといわれている。茨城県の人口集中地区人口は、毎回増加しており、今回は121,358人増加して1,035,193人と初めて100万人台に達し、昭和35年時と比べると約2.6倍になった。全域人口に占める割合も増加を続け、今回35.0%となり、これは前回と比較して2.9ポイントの上昇である（第2表）。

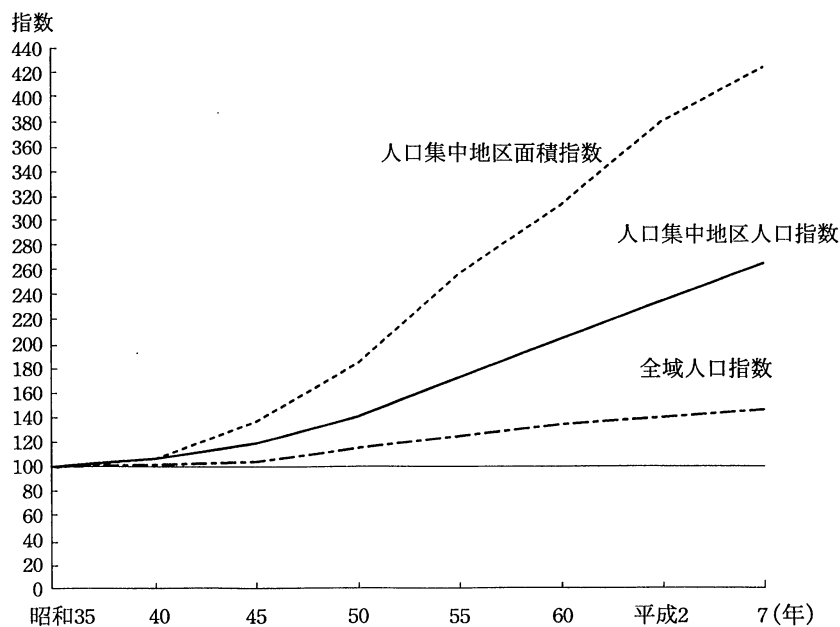
一方、人口集中地区の面積は、前回より23.3km<sup>2</sup>増加して219.4km<sup>2</sup>と、昭和35年時と比べると約4.2倍の広さになり、人口に比べてその伸びは高い。全域に占める割合も前回より0.38ポイント上昇して3.6%となっている。

この結果、人口集中地区の人口密度は、前回より59.2人高くなって4,719.2人と、昭和35年時の約62%になったが、それでも全域の約10倍近い高さを示している（表-4、図-2）。

表-4 人口集中地区人口の推移（昭和35年～平成7年） -茨城県-

年次	人 口			面 積 (km <sup>2</sup> )			人口密度 (人/km <sup>2</sup> )	
	全 域	人口集中 地 区	全域に占 める割合 (%)	全 域	人口集中 地 区	全域に占 める割合 (%)	全 域	人口集中 地 区
昭和35年	2,047,024	392,994	19.2	6,087.92	52.0	0.85	336.2	7,557.6
40	2,056,154	419,147	20.4	6,088.01	56.5	0.93	337.7	7,418.5
45	2,143,551	468,787	21.9	6,087.20	70.1	1.15	352.1	6,687.4
50	2,342,198	548,449	23.4	6,089.59	96.0	1.58	384.6	5,713.0
55	2,558,007	670,978	26.2	6,091.92	133.6	2.19	419.9	5,022.3
60	2,725,005	795,570	29.2	6,094.43	162.6	2.67	447.1	4,892.8
平成2年	2,845,382	913,835	32.1	6,093.40	196.1	3.22	467.0	4,660.0
7	2,955,530	1,035,193	35.0	6,093.56	219.4	3.60	485.0	4,719.2

図-2 人口集中地区の人口及び面積指数の推移（昭和35年=100）



### (3) 地域別人口

人口及び人口増加を県内5地域別にみると、全ての地域で増加数及び増加率が前回（昭和60年～平成2年）を下回ってはいるが、県北地域が7,525人（増加率1.1%）、県央地域が8,133人（同1.7%）、鹿行地域が8,554人（同3.3%）、県南地域が71,287人（同8.1%）、県西地域が14,649人（同2.6%）それぞれ増加しており、この結果、総人口に占める割合は、県北地域22.5%、県央地域16.6%、鹿行地域9.1%、県南地域32.1%、県西地域19.6%となっている。

また、過去20年間の推移をみると、昭和45年～60年に県南地域が10%を超える高い人口増加率を示しているのが顕著であり、今回（平成2年～7年）も8.1%と県平均（3.9%）の2倍以上の高さとなった。この結果、総人口に占める割合が、25.5%から32.1%へと大きく伸びており、これに対し、県央地域（16.6～18.2%）、鹿行地域（9.1～9.7%）及び県西地域（19.6～20.8%）はほぼ横ばい状態で推移し、一方県北地域は23.1%から22.5%へと低下している（表－5）。

表－5 県、5地域別人口の推移（昭和50年～平成7年）

年次	茨城 県				県北 地域			
	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)
昭和50年	2,342,198	198,647	9.3	100.0	604,016	23,603	4.1	25.8
55	2,558,007	215,809	9.2	100.0	629,668	25,652	4.2	24.6
60	2,725,005	166,998	6.5	100.0	649,933	20,265	3.2	23.9
平成2年	2,845,382	120,377	4.4	100.0	658,049	8,116	1.2	23.1
7	2,955,530	110,148	3.9	100.0	665,574	7,525	1.1	22.5

年次	県央 地域				鹿行 地域			
	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)
昭和50年	425,721	34,097	8.7	18.2	277,280	30,507	15.5	9.7
55	452,871	27,150	6.4	17.7	238,185	10,905	4.8	9.3
60	473,705	20,834	4.6	17.4	251,008	12,823	5.4	9.2
平成2年	483,763	10,058	2.1	17.0	260,664	9,656	3.8	9.2
7	491,896	8,133	1.7	16.6	269,218	8,554	3.3	9.1

年次	県南 地域				県西 地域			
	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)	人口	増加数	増加率 (%)	構成比 (%)
昭和50年	597,003	76,927	14.8	25.5	488,178	33,513	7.4	20.8
55	718,536	121,533	20.4	28.1	518,747	30,569	6.3	20.3
60	803,337	84,801	11.8	29.5	547,022	28,275	5.5	20.1
平成2年	877,415	74,078	9.2	30.8	565,491	18,469	3.4	19.9
7	948,702	71,287	8.1	32.1	580,140	14,649	2.6	19.6

(4) 市町村別人口

前回より増加した市町村は、18市45町村であり、減少した市町村は2市20町村となっている（第2表）。

増加率の高いのは、江戸崎町（36.8%）、守谷町（25.8%）、美浦村（23.8%）、龍ヶ崎市（20.8%）、谷和原村（19.2%）の順で依然として、土浦市以南の常磐線沿線及びその周辺に高い市町村が多く、特に、江戸崎町は全国第8位の高率となっている（表-6、表-7、図-3）。

また、増加数の多いものも、つくば市（12,616人）、龍ヶ崎市（11,925人）、守谷町（9,394人）、牛久市（5,645人）、江戸崎町（5,384人）の順で、やはり増加率と同様の傾向を示している（表-8）。

表-6 人口増加率の高い市町村（全国）

順位	市町村名	増加率（%）	順位	市町村名	増加率（%）
		平成2年～7年			平成2年～7年
1	南幌町(北海道)	59.3	6	印西町(千葉県)	38.2
2	利府町(宮城県)	54.0	7	山武町(千葉県)	38.2
3	南河内町(栃木県)	50.1	8	江戸崎町(茨城県)	36.8
4	三田市(兵庫県)	49.1	9	藤岡町(愛知県)	36.4
5	玉村町(群馬県)	40.2	10	東神楽町(北海道)	33.2

表-7 人口増加率の高い市町村

順位	市町村名	増加率（%）	
		平成2年～平成7年	昭和60年～平成2年
1	江戸崎町	36.8	7.1
2	守谷町	25.8	52.7
3	美浦村	23.8	1.3
4	龍ヶ崎市	20.8	17.2
5	谷和原村	19.2	3.8
6	新利根村	14.7	2.0
7	三和町	10.2	16.2
8	神栖町	10.2	10.8
9	友部町	9.6	8.6
10	常北町	9.6	4.1

表-8 人口増加数の多い市町村

順位	市町村名	増加数（人）	
		平成2年～平成7年	昭和60年～平成2年
1	つくば市	12,616	15,899
2	龍ヶ崎市	11,925	8,381
3	守谷町	9,394	12,571
4	牛久市	5,645	8,767
5	江戸崎町	5,384	970
6	土浦市	4,772	7,296
7	ひたちなか市	4,348	6,628
8	神栖町	4,122	3,948
9	三和町	3,695	5,055
10	阿見町	3,460	4,522

一方、増加率の低いのは、美和村（△6.1%）、大子町（△5.4%）、緒川村（△4.7%）、水府村（△4.4%）、御前山村（△4.3%）であり、また、増加数の少ないのは、日立市（△2,897人）、大子町（△1,463人）、麻生町（△488人）、笠間市（△474人）、伊奈町（△339人）の順となっており、率、数とも県北地域に上位を占める市町村が多くなっている（表-9、表-10、図-3）。

人口増加率の前回（昭和60年～平成2年）と今回（平成2年～平成7年）との相関関係を見ると、18市42町村が連続して増加し、5町村が増加から減少に転じ、3町村が減少から増加に転じ、2市15町村が連続して減少している。また、増加率が前回は上回ったのが9市28町村、下回ったのが11市37町村となっており、さらに、前回は11市町村が10%を超える高い伸びを示したのは、今回は8市町村にとどまっており、全般に増加率が鈍化しているといえる（第2表、図-4）。

図-4 市町村別人口増加率相関図（昭和60年～平成2年，平成2年～7年）

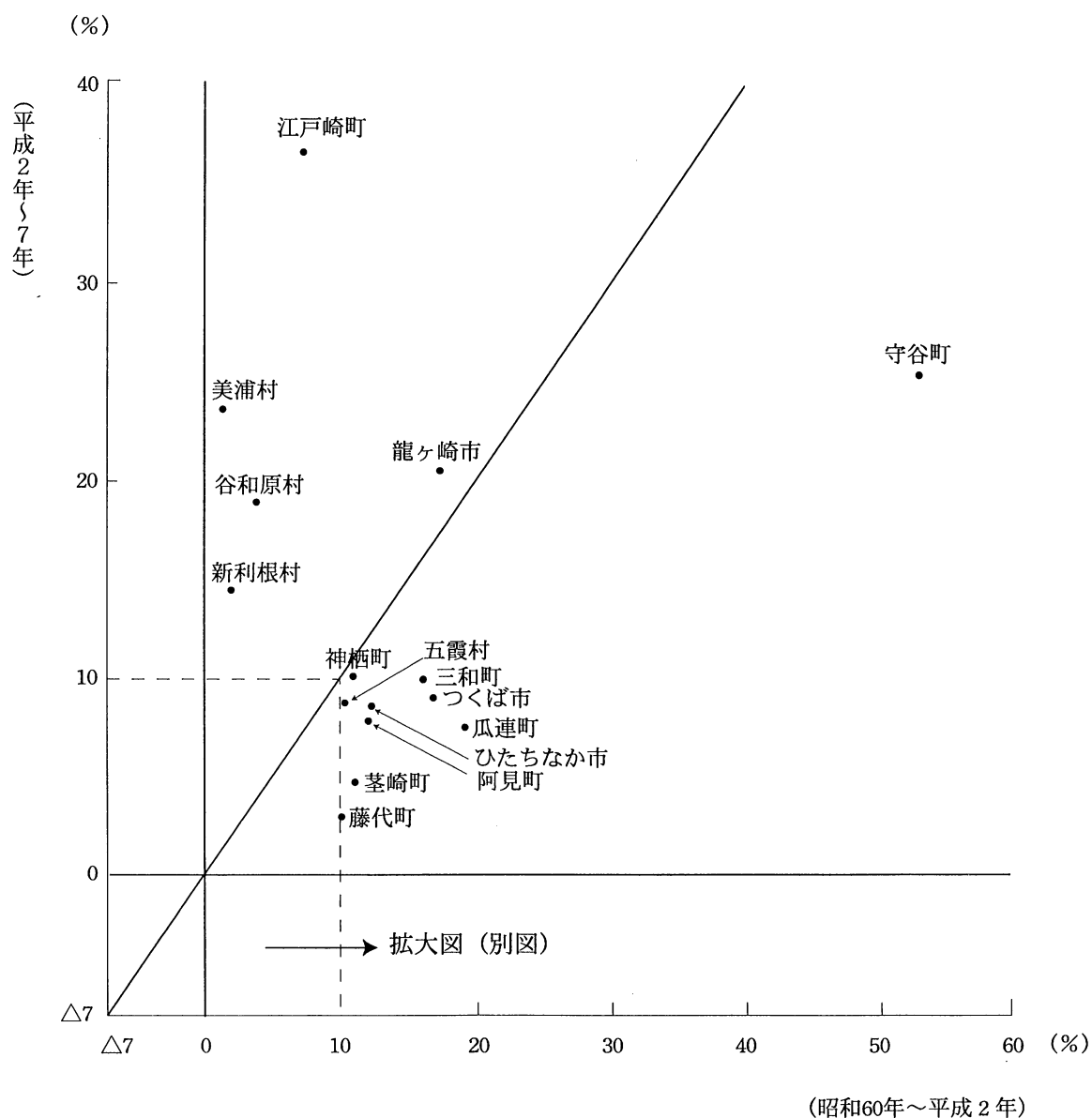
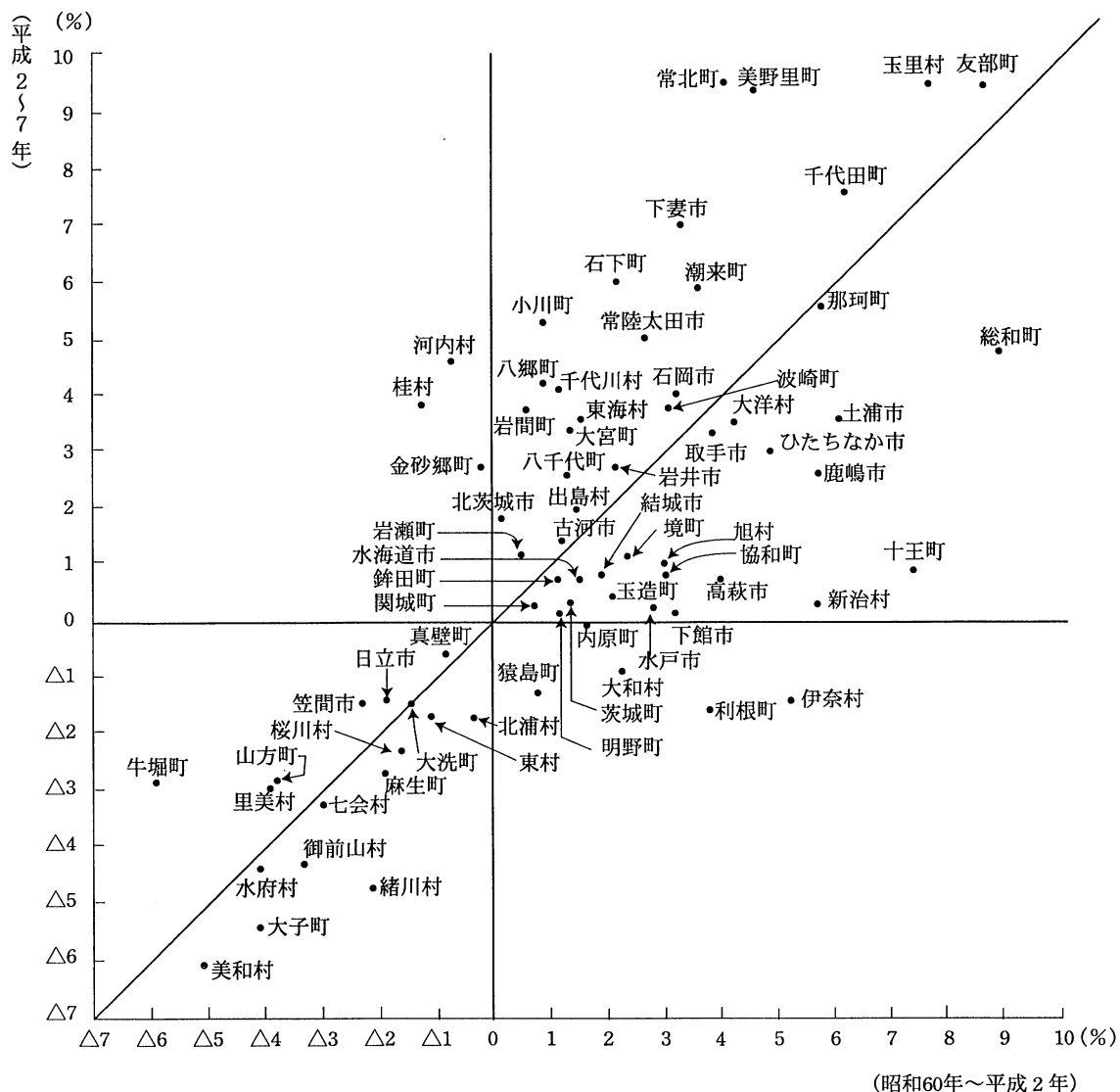


図-4 市町村別人口増加率相関図（拡大図）



次に、市町村の人口規模をみると、20万人以上が水戸市（246,347人）の1市、10万人以上20万人未満が日立市（199,244人）、つくば市（156,012人）、ひたちなか市（146,750人）及び土浦市（132,243人）の4市、5万人以上10万人未満が9市（取手市、龍ヶ崎市、牛久市、下館市、鹿嶋市、古河市、結城市、石岡市、北茨城市）、3万人以上5万人未満が6市12町村、1万人以上3万人未満が38町村、1万人未満が15町村となっており、4万人を超える町は5町（総和町、守谷町、阿見町、那珂町及び神栖町）であった。

また、1km<sup>2</sup>当たりの人口密度は、最も高い古河市（2,814.0人）以下、取手市（2,277.6人）、土浦市（1,616.1人）、ひたちなか市（1,482.6人）、水戸市（1,400.5人）、日立市（1,299.5人）、守谷町（1,286.0人）、牛久市（1,125.5人）、莖崎町（1,075.0人）、藤代町（1,028.4人）の順で1,000.0人を超えており、人口集中地区（31市町村）では、県平均（4,719.2人）に対し、取手市（7,430.9人）、龍ヶ崎市（6,501.9人）、守谷町（6,454.8人）、古河市（6,307.3人）、藤代町（6,177.2人）、千代田町（6,065.6人）、牛久市（6,013.2人）、利根町（5,245.3人）、水戸市（5,086.1人）の9市町村で5,000.0人を超える高さになっている（第2表）。